



## 観音祭後拝み 良啓

神宮寺の観音祭は、琉球王朝時代に始まり、歴代国王が親方などの家臣団を引き連れて、参詣されました。娯楽の少ない時代でしたから、首里から普天間までの行列は非常に目立ち、段々と庶民までもが参拝する習わしになりました。

今般の新型コロナウイルスの猛威は全世界を震撼させました。学校の休校、リモートワーク、外出自粛など少し前には考えられない状況を生み出しています。

その中で、どの様にお祭りを行うのか非常に悩みました。皆様を迎えて感染者を出しては大変です。そこで、法要は寺の役員と係の者だけで、皆様の健康と疫病退散の祈りを行います。その代わり、法要後六日間限定で非公開の観音像や曼荼羅をお参り出来る様にしました。

観音像は、摩文仁の平和祈念像の制作者である故山田真山翁の作です。日本画などの作品が多い為、翁の仏像は希少な作例と思われまます。また、曼荼羅は、真言宗に伝わる金剛界と胎藏部の二軸です。密教の悟りへの道筋を示す金剛界と世界の調和を表現する胎藏部のコントラストは、不可視なウィルスの脅威に心が休まらない今の私達に確かな安らぎを与えて頂けると思います。

十分な感染防止策の為、人数の制限などをさせて頂くこともあります。が、年に一度のお披露目ですので、ご興味のある方は、この機会に後拝みにお越しください。

観音祭 令和二年十月十一日

後拝み 令和二年十月十二〜十七日 九〜十七時

※事前申込は不要ですが、葬儀があると時間帯が変更になりますので、寺務所までお問い合わせください。

神宮寺寺務所 ○九八―八九二―三三三五(九〜十七時)

## 【今、ある中に日々の楽しみを見つける方法】

寺務員 EQ絵本講師兼次みさえ

私のルーティン

寝ぼけ眼で心地良い寝具の中から手を伸ばし、一冊絵本を手に取ります。

静かに、**自分自身に読み聞かせ**

(ほんの五分程度で読めます)

幸福感に浸りながらもせつせと家事をこなします。

お寺へ出勤

『天野こうゆうほほえみ日めくり』を**めくる** 毎月、繰り返し見えています。日めくりを描かれたメッセージは、毎朝新鮮で、心に響きます。世の中が変わり、出来ない事も多い中日々の生活を丁寧生きる楽しみを見つけ過ぎていきます。

こちらもお楽しみ

住職が**ユーチューバーに!**

天野こうゆう法話チャンネル

令和二年十月四日(日)十九時〜二十一時  
**こうゆう対談**『沖縄と密教』ゲスト出演

神宮寺住職金城良啓

